

2020年12月1日

新型コロナウイルス感染症陽性者の確認について

常磐会短期大学 危機対策本部長
学長 農野 寛治

本学関係者に、新型コロナウイルス感染症陽性者を確認しましたので、次の通りお知らせいたします。

【経緯と状況】

- ・抗原検査陽性：学生1名
- ・11月30日（月）発熱37.4℃、頭痛、鼻水・鼻づまりで内科受診したところ抗原検査により陽性判明。
- ・11月30日（月）保健所の指示で療養。
- ・現在、学生の症状は治まっています。

【濃厚接触者】

当該学生は、11月28日（土）より30日（月）までの3日間、本学キャンパスには登校していませんので、他者への感染可能性は低いと判断され、保健所からは大学に対して濃厚接触者等に関する特別な対処の指示は出ていません。

【本学の対応】

しかしながら、昨今の感染症流行の傾向と本学の新型コロナウイルス感染症危機対策管理基準に則り、念のため12月1日（火）より12月3日（木）までの3日間を休校措置とし、本学における関係者との接触等について調査するとともに構内の点検消毒を行います。

つきましては、本学キャンパスにおける対面授業は、12月1日（火）より12月3日（木）まで停止とし、遠隔授業を行います。よってこの期間は、学生の本学への入構を原則禁止とするとともに、卒業生ならびお取引業者など関係者の皆さまには本学が許可した場合にのみ入構とさせていただきます。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

対面授業の再開は、12月4日（金）です。

当該学生の一日も早い治癒をお祈りいたします。

なお、本学では、当該学生及び関係者の人権への配慮と個人情報保護のために、氏名等を公表いたしません。ご理解いただきますようお願いいたします。

今後とも保健所他関係各所と連携し、引き続き学内外での感染防止対策の周知・徹底に取り組んでまいります。